

I. 事業活動

1. 食文化の研究支援活動

(1)第33回「食の文化フォーラム」の開催 年間テーマ:「野生から家畜へ」

①野生動物がどのように人間に飼われ、役畜・食料として利用されるようになったのか。人間の生活の変化、家畜化した動物の生物学的変化、人間と動物の未来等、活発に議論した。

・コーディネーター:松井章氏 総合司会:原田信男氏

第1回 「狩猟と家畜の歴史」 (2014年6月7日開催)

第2回 「家畜利用の多様性」 (2014年10月4日開催)

第3回 「人間と動物の未来」 (2015年3月14日開催)

②2013年度に開催した食の文化フォーラム32「宗教と食」の成果を単行本として刊行した。

(2)公開施設「食の文化ライブラリー」の運営

①蔵書・錦絵

蔵書:期末点数43,515点 期初点数43,515点(内貴重書2,678点 期初点数2,615点)

錦絵:期末点数193点 期初点数193点

来館者数5,197人(前期比102%),貸出人数2,107人(前期比103%),貸出冊数6,024冊(前期比107%)

※2015年1月に貸出用カード登録者累計1万人を達成した。

②資料の公開整備

・秋山徳蔵氏メニューコレクションの目録を作成し、その開架をHP、メルマガにて告知 (2015年2月)。

関連記事が共同通信から配信され、新聞社、TV等で多数取り上げられる。(2015年3月)

・田中静一氏寄贈の中国語書籍を核とした中国食文化書籍群を約400冊に厳選し開架。(2015年2月)

③図書資産の利用促進

・港区連携事業「ミナコレ」、小中高校生の総合学習の対応等により利用者の増加傾向を維持。(通期)

2. 食文化の普及啓発活動

(1)食文化誌『vesta』

以下の4巻を発行した。

94号「和食のクライテリア(粹組み)」

95号「ああ、あれが食べたい！」

96号「日本の粉もん文化」

97号「やわらかい食」

※2014年度その他の販売冊数

責任編集

的場 輝佳氏

前川 健一氏

熊谷 真菜氏

柳沢 幸枝氏

販売冊数

1456冊

1440冊

1489冊

1440冊

855冊

(2)公開講座

前半は話題性のある外国(ブラジル:ワールドカップ、韓国:キムジャン無形文化遺産登録)、後半は国内の地域の食文化に焦点をあてた。開催日時の工夫を図り参加者の多様化の対応に努めた。

	開催日	テーマ	講師	開催	参加者数	新規率
第1回	5月28日	「食を通してブラジルを知ろう」	田所清克氏	平日	49名	46%
第2回	7月8日	「食を通して韓国を知ろう」	守屋亜記子氏	平日	25名	45%
第3回	12月13日	「日本の正月祝い膳」	奥村彪生氏	土曜日	60名	23%
第4回	1月21日	「日本の食はモザイク模様」	野瀬泰申氏	平日	57名	23%

(3)映像記録「日本の味・伝統食品」(DVD全4巻、別巻1巻)頒布

販売実績 24枚(前年66枚) 別巻「かつおだし」 13枚(前年18枚)

(4)公開シンポジウム「食の文化シンポジウム2014」の開催(三重県との共催)

2013年度に開催した食の文化フォーラム「宗教と食」の研究成果を一般の方々にわかりやすい内容で紹介、食と信仰と「生命や生活」の深い関わりを中心に議論した。伊勢市にて神嘗祭に合わせて開催した。

主催 :三重県・財団

後援 :味の素株式会社 ※実施にあたり味の素株式会社四日市事業所に協力をいただいた。

開催日 :2014年10月15日(水)

会場 :伊勢シティホテル 参加者数 :150 名

テーマ :「食と信仰のかかわり」

基調講演 :「日本の米と信仰」 原田信男氏

パネルディスカッション: 市川裕氏・太田光俊氏・小磯千尋氏・原田信男氏・南直人氏

(5)和食文化保護継承活動

①和食文化の保護・継承に貢献する研究支援

2014年から和食文化の保護・継承に貢献する2ヶ年事業として研究調査を開始した。

2015年度5月に中間報告会を行い、引き続き2015年度の研究を継続する。

研究終了後に成果を発信し和食・文化の保護継承に貢献する。

・研究体制 顧問 熊倉 功夫氏(静岡文化芸術大学学長) 原田 信男氏(国土館大学 教授)

座長 江原 絢子氏(東京家政学院大学名誉教授) 南 直人氏(京都橘大学 教授)

・研究テーマ「郷土食保護継承の方法」 チームリーダー:大久保洋子氏(元実践女子大学教授)

「学校給食を通じた和食文化の保護継承」

チームリーダー:江原絢子氏(東京家政学院大学名誉教授)

②和食文化の保護継承国民会議(一社)の法人設立支援

「和食国民会議」は一般社団法人として2015年2月に登記され会員と会費の募集を経て4月から活動開始。

・支援活動:農水省や複数の支援法人等と連携し、会員募集、事務局体制の整備等の一般社団法人設立のための支援活動を行った。

・財団からの寄付:法人設立費用として100万円を寄付した。

・公益事業認定:上記活動について内閣府公益認定委員会に「その他事業」での認定を得た。

II. ホームページ

(1)コンテンツの充実

・「和食」「食文化」等、食文化への関心の高まりを背景に、年間HP訪問者数は62,876(前期比152%)と伸長した。

・HP開設より一定年を経過し、見せ方等が陳腐化してきたため、抜本的見直しの検討を開始した。

(2)石毛直道先生関連

・web上での画像公開を前提に、対象画像の厳選と画像の分類体系を整備。石毛先生のキャプション追記用原稿の作成を進めた。(2015年1月以降)

III. 財団運営

(1)役員評議員人事

6月19日 来留島評議員・原田理事就任、平川評議員辞任

7月 1日 津布久専務理事に交代、鈴木郁男理事辞任

8月 1日 平尾副理事長に交代

(2)基本財産運用

満期償還された1億円分の債券買換えを実施した。

償還された債権:東京都公募公債第616回 金額1億円 ケーボン1.41% 償還日2014年12月19日

購入した債券 :政府保証債第236回日本高速道路保有・債務返済機構債券

金額1億円 ケーボン0.32% 購入日2015年1月21日 償還日2025年1月31日

以上